

東北税政連だより

No.188

税理士の権益の維持とその拡大のために税政連があります

税理士による舟山康江後援会定期総会を開催しました。

山形県税理士政治連盟

6月8日、山形グランドホテル（山形市）において、税理士による舟山康江後援会の定期総会を開催した。

当日は舟山康江参議院議員の他、来賓に高橋龍二山形県税理士政治連盟会長、浦山善太山形県税理士会連合会会長を迎え、総勢21人による総会となった。

佐藤登美子後援会会長からの挨拶後、活動報告・決算報告を行い、総会終了後は舟山議員の国政報告が行われた。

舟山議員は多忙の中、本総会と確定申告期の無料相談会の視察には毎年欠かさず本人が出席されている。国政報告では最近の政治と金にまつわる状況と法律改正についての国会審議についての話を伺うことができた。

懇親会では「定額減税」に対する各会員からの意見が多く聞かれ、現在の税をとりまく政策が税理士にとって多大な負担になっている状況を改めて感じさせられた。



税理士による秋葉賢也後援会定期総会を開催

宮城県税理士政治連盟

6月10日、ホテル白萩（仙台市）において、税理士による秋葉賢也後援会の第11回定期総会が開催された。

当日は、秋葉賢也衆議院議員の他、来賓に吉田恵幸東北税理士政治連盟副会長を迎え、総勢10名の出席であった。

総会では、菊地弘生後援会会長のあいさつの後、議案説明がありすべての議案は可決承認された。

続いて、秋葉議員から国政報告が行われ、「雑損控除」改正のお話があり、この度の能登半島地震については、改正後の法律が適用されることについて何より良かったと述べられたほか、政治資金規正法や定額減

税の問題点、国政選挙等について意見交換を行った。

後援会としては、会員の増加を図り、総会、国政報告会への参加を呼びかけ、応援して行く所存である。

